

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	交通教育専門員設置事業					担当課	生活環境課				
基本目標	1	安全・安心できれいなまち					担当係	生活交通係			
施策項目	3	交通安全・防犯・消費者対策					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	1	交通安全意識の高揚					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	2	1	11	交通教育専門員設置事業						

目的と方針 【PLAN】	交通事故や犯罪のないまちづくりに向け、関係機関・団体や市民と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図るとともに、近年の環境変化に即した消費者対策を推進します。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	交通教育専門員を市内各地域に配置し、地域における交通安全に関する知識の普及及び交通安全思想の高揚を図ります。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	市民に交通安全思想の高揚が図られ、交通ルールが守られている。
--------------	----	--------------	--------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市民の交通安全に対する意識を高めるための啓発活動等を実施する。
----------------------	---------------------------------

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	5,370	5,383	6,553			
	事業費合計	千円	5,370	5,383	6,553			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
一人当たりの年間勤務日数	日	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	198	198	198	198	198
			実績値	204				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	交通事故を防止するためには交通ルールを守ることが必要であることから、市民への交通安全に関する啓発活動を実施していくことが安全で安心な交通事故のないまちづくりに繋がっていくため、交通安全教育専門員の交通安全思想の普及が必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	通学時間帯の立哨活動に加え、交通安全教室や街頭啓発により、交通事故件数は減少傾向にある。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	伊達警察署や交通安全協会等、関係団体と連携しながら効率的で効果的な啓発活動を行えるよう工夫を重ねている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	交通教育専門員の高齢化が進んでいるため、後継者の選定・育成が必要である。
------------	----	-------------------------	--------------------------------------

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	交通安全対策事業					担当課	生活環境課	
基本目標	1	安全・安心できれいなまち				担当係	生活交通係	
施策項目	3	交通安全・防犯・消費者対策				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度	
主な取組	1	交通安全意識の高揚				事業区分	補助	
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	11	交通安全対策事業			

目的と方針 【PLAN】	交通事故や犯罪のないまちづくりに向け、関係機関・団体や市民と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図るとともに、近年の環境変化に即した消費者対策を推進します。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	市民を交通事故から守るため、交通安全協会等関係団体と連携し、交通安全運動の啓発・啓蒙活動を行います。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	市民の交通安全に対する意識が高まり、交通事故のないまちとなっている。
--------------	----	--------------	------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市と交通安全協会等交通安全関係団体が連携し、街頭啓発・交通安全教室等を通して、市民へ交通安全を呼びかけ、交通事故の減少を図っていく。
----------------------	--

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	3,303	3,398	3,261			
	事業費合計	千円	3,303	3,398	3,261			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
街頭啓発活動実施件数	件	実績値が目標値	目標値	20	20	20	20	20
		以上と	実績値	23				
		なること	達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	交通安全運動に合わせ、交通安全関係団体等と連携した街頭啓発を実施していくことにより、安全で安心な交通事故のないまちづくりに繋がることから、交通事故を防止するための啓発活動は必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	交通安全運動期間などの交通安全教室や街頭啓発により、交通事故件数は減少傾向にある。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	伊達警察署や交通安全協会等、関係団体と連携しながら効率的で効果的な啓発活動を行えるよう工夫を重ねている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	交通安全関係団体による交通安全啓発の実施などにより、交通事故発生件数は前年より減少しているが、高齢者が関係する事故の割合が高いことから、高齢者を対象とした啓発が必要である。
------------	----	-------------------------	--

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	運転免許返納支援事業					担当課	生活環境課				
基本目標	1	安全・安心できれいなまち					担当係	生活交通係			
施策項目	3	交通安全・防犯・消費者対策					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	1	交通安全意識の高揚					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	2	1	11	運転免許返納支援事業						

目的と方針 【PLAN】	交通事故や犯罪のないまちづくりに向け、関係機関・団体や市民と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図るとともに、近年の環境変化に即した消費者対策を推進します。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	運転免許の自主返納を促進し交通事故の減少及び交通手段の確保を図ります。
----------------	-------------------------------------

対象 【PLAN】	市民（高齢者）	意図 【PLAN】	運転免許返納者が増加し、移動手段に公共交通機関が利用されている。高齢者が加害者となる交通事故がなくなり、市民が安全・安心に生活できる。
--------------	---------	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	高齢者の運転免許返納を促進し、移動手段に公共交通機関を利用するなど、運転免許を返納しても日常生活を送ることができるようにしていく。
----------------------	---

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	2,636	3,090	3,161			
	事業費合計	千円	2,636	3,090	3,161			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
運転免許返納支援優待証交付件数	件	実績値が目標値	目標値	250	250	250	250	250
		以上と	実績値	177				
		なること	達成率	70.8%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	運転免許を返納するためには自家用車に代わる移動手段が必要となる。自家用車から公共交通を利用することを推進するため、高齢者でも使いやすいデマンド交通に対する支援を行うことにより、早期の運転免許返納に繋がるため、高齢者の事故防止の観点から必要な事業となっている。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	令和6年度より、デマンド交通の利用料金が統一されることにより、利用者にわかりやすく、利用しやすくなるため、運転免許返納支援制度と合わせて、市民満足度の向上や利用者の増加が期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	デマンド交通の料金統一を図ることにより、利用者の増加につながっていく。また、利便性向上（一本化）を進めており、効率的な事業を目指している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	運転免許返納を促進するため、運転免許支援制度のチラシを更新した。地域公共交通の見直しに合わせた制度の検討を引き続き行っていく必要がある。
------------	----	-------------------------	--

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	交通安全施設整備事業					担当課	生活環境課				
基本目標	1	安全・安心できれいなまち					担当係	生活交通係			
施策項目	3	交通安全・防犯・消費者対策					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	2	交通安全施設の整備					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	2	1	11	交通安全施設整備費業						

目的と方針 【PLAN】	交通事故や犯罪のないまちづくりに向け、関係機関・団体や市民と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図るとともに、近年の環境変化に即した消費者対策を推進します。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	交通安全対策の推進のため交通安全施設を充実させ、安心して暮らせるまちづくりを構築します。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	交通安全施設が整備され、自動車等が安全に運行できる道路環境となり、交通事故がなく市民が安全に安心して生活できる。
--------------	----	--------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	交通安全施設の設置及び修繕が必要な箇所を把握し、交通事故防止への効果的な整備を実施していく。
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	5,325	4,333	4,141			
	事業費合計	千円	5,325	4,333	4,141			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
交通安全施設（カーブミラー）整備件数	件	実績値が目標値	目標値	16	16	16	16	16
		以上と	実績値	10				
		なること	達成率	62.5%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	道路状況等に起因する交通事故の発生もあることから、カーブミラー等の交通安全施設を設置することにより道路交通の安全性が高まる。交通事故防止の観点から、交通安全施設の整備は必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	カーブミラー等の交通安全施設の整備を継続していることにより、交通事故は減少傾向にある。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	交通安全施設の整備等に関しては、交通安全関係団体と連携し、優先順位を付けながら効果的な整備を行っている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	交通安全施設設置の要望は増加傾向にあり、カーブミラーの他に区画線や路面標示の設置を必要とする箇所もある。優先順位を付けながら効果的な整備を継続していく必要がある。
------------	----	-------------------------	---

整理番号
25

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	防犯対策事業				担当課	生活環境課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	生活交通係
施策項目	3	交通安全・防犯・消費者対策			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	3	防犯意識の高揚			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	18	防犯対策事業	

目的と方針【PLAN】	交通事故や犯罪のないまちづくりに向け、関係機関・団体や市民と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図るとともに、近年の環境変化に即した消費者対策を推進します。		
事業概要【PLAN】	市民、地域（防犯団体）と行政が一体となって犯罪の発生しにくい、安全で安心なまちづくり、防犯活動の取り組みを進めます。		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	犯罪が減少し、市民が安全で安心して生活している。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	広報活動や防犯講習会の開催により市民の防犯に対する意識の高揚を図っていく。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		910	910	868			
	事業費合計	千円		910	910	868			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
防犯啓発活動件数（防犯協会連合会）	件	実績値が目標値以上となること	目標値	16	16	16	16	16	
			実績値	19					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				近年の社会情勢を踏まえ、福島県の犯罪被害者等支援条例の制定や福島県警察本部が防犯カメラ設置に対する補助を予定しており、防犯対策や犯罪被害者支援への社会の高まりがある。市としても防犯対策や犯罪被害者支援を推進していく必要がある。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				防犯協会をはじめとする関係団体と連携した防犯活動や啓発活動等により、犯罪発生件数は減少傾向にある。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				防犯協会をはじめとする関係団体と連携し、効果的な防犯活動や啓発活動等を実施している。令和６年度から開始の犯罪被害者等への見舞金制度に関しても防犯協会をはじめとする関係団体と連携し、効率的で効果的な事業周知を図っていきたい。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		福島県犯罪被害者等支援条例が制定されたことにより、市町村の条例制定を求められているため、令和６年度中に条例制定を目指していく。					

整理番号
26

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	消費者行政推進支援事業				担当課	生活環境課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	生活交通係
施策項目	3	交通安全・防犯・消費者対策			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	4	消費者意識の高揚			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	7	1	3	消費者行政費	

目的と方針【PLAN】	交通事故や犯罪のないまちづくりに向け、関係機関・団体や市民と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図るとともに、近年の環境変化に即した消費者対策を推進します。		
事業概要【PLAN】	消費者問題に関わる被害を未然に防止するため、消費者相談体制の強化や啓発活動を推進し、健全な消費生活社会の形成を図ります。		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民の消費者トラブルを未然に防ぐこと。また、そのトラブルを解決すること。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	消費行政の情報提供、消費生活講座、出前講座により消費者教育の充実を図る。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		330	81	98			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		7,984	8,609	9,840			
	事業費合計	千円		8,314	8,690	9,938			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
「伊達市消費生活センター」出前講座開催回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	57				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】								
	評価視点			評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか			消費者行政の啓発活動を推進することにより、消費者トラブルを未然に防止できること、消費者トラブルへの相談対応は、市民の財産を守ることにつながるため、社会的需要として必要である。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか			特殊詐欺（なりすまし詐欺等）や消費者トラブルの内容が高度化し、相当な被害額になる可能性もあり、啓発活動により未然に防止していくことは有効な手法である。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか			研修等への参加をオンラインなども活用し、時間の削減に努めている。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】								
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	特殊詐欺（なりすまし詐欺等）や消費者トラブルの内容が高度化してきている。SNSの活用など、効率的で効果的な啓発活動が必要である。					

整理番号
27

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	消費者行政推進支援事業（再掲）				担当課	生活環境課
基本目標	1	安全・安心できれいなまち			担当係	生活交通係
施策項目	3	交通安全・防犯・消費者対策			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	5	相談体制の充実			事業区分	令和７年度
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	7	1	3	消費者行政費	

目的と方針【PLAN】	交通事故や犯罪のないまちづくりに向け、関係機関・団体や市民と連携し、交通安全・防犯体制の強化を図るとともに、近年の環境変化に即した消費者対策を推進します。		
事業概要【PLAN】	消費者問題に関わる被害を未然に防止するため、消費者相談体制の強化や啓発活動を推進し、健全な消費生活社会の形成を図ります。		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民の消費者トラブルを未然に防ぐこと。また、そのトラブルを解決すること。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	消費行政の情報提供、消費生活講座、出前講座により消費者教育の充実を図る。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		330	81	98			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		7,984	8,609	9,840			
	事業費合計	千円		8,314	8,690	9,938			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
消費生活相談員の研修参加回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	消費者行政の啓発活動を推進することにより、消費者トラブルを未然に防止できること、消費者トラブルへの相談対応は、市民の財産を守ることにつながるため、社会的需要として必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	特殊詐欺（なりすまし詐欺等）や消費者トラブルの内容が高度化し、相当な被害額になる可能性もあり、啓発活動により未然に防止していくことは有効な手法である。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	研修等への参加をオンラインなども活用し、時間の削減に努めている。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	特殊詐欺（なりすまし詐欺等）や消費者トラブルの内容が高度化してきている。SNSの活用など、効率的で効果的な啓発活動が必要である。